

株式会社バンダイ

1996年3月7日

~バンダイこどもアンケートレポート Vol. 10

「お父さん、お母さんが小さい頃なりたかったものは何ですか?」

…… 現在のこどもと対照的なお父さん ……

…… 意外に今と変わらないお母さん ……

この調査は雑誌誌上で当社が行っている、アンケート付きプレゼント企画への回答をまとめたものです。 主に保護者を対象にしたこどもに関する設問で、月1回の調査を行っています。質問内容は玩具に限定 することなく、広い視野からこどもたちの生活に密着した生の声をまとめ、現代のこどもたちの実態を バンダイ流に解きあかしていこうと考えています。

【調査概要】

調査方法:雑誌広告でのアンケート付プレゼント企画によりハガキで募集。

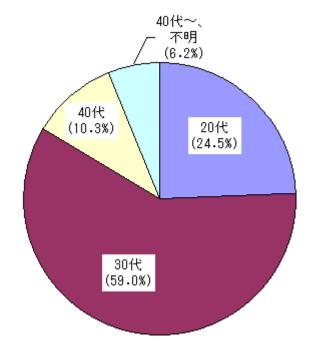
実施時期:1996年1月

質問内容: お父さん、お母さんが小さい頃なりたかったものは何ですか?

有効回答数:2639人

男女総計 2639 人

	★男	性★
年齢内訳	20代	295 人
	30代	709 人
	40 代	124 人
	40代~、	不明 74 人
	計	1202 人



 ★女
 性★

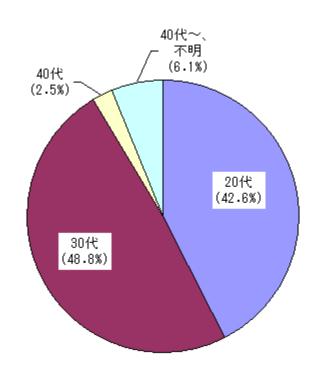
 年齡內訳
 20 代
 612 人

 30 代
 701 人

 40 代
 36 人

 40 代~、不明
 88 人

 計
 1437 人



★「お父さんがこどもの頃なりたかったもの」 「現在のこどもが将来なりたいもの」の比較結果

1	プロ野球選手	14.6%
2	パイロット	13. 3%
3	先生	7. 2%
4	電車の運転手	5. 2%
5	大工さん	4.3%
6	バスの運転手	3.5%
7	警察官	3. 2%
8	医者	2.8%
9	カーレーサー	2. 7%
	トラック(ダンプカー)の運転	手 2.7%

※年齢表記のないものも含む

○現在のこどもが将来なりたいもの (934 人 / 1995 年 4 月調査)

	(001)()	
1	サッカー選手	11.6%
2	電車の運転手	11.0%
3	ウルトラマン	5.4%
4	オーレンジャー	4. 7%
5	車の運転手	3. 2%
6	おもちゃ屋さん	3.1%
7	警察官	3.0%
8	プロ野球選手	2.9%
9	パイロット	2.8%
10	医者	1.4%

両者を比較すると、1 位はお父さんが「プロ野球選手」、こどもが「サッカー選手」となっている。お父さんがこどもの頃には J リーグもなく、実際の選手の活躍(ジャイアンツの 9 連勝)や野球を題材にした TV アニメ (1968~「巨人の星」など) などでこどもの野球に対する憧れはかなり大きかったと思われる。

一方現在のこどもではサッカー選手がプロ野球の得票数の 5 倍と圧倒的な人気を示している。また 2 位でもお父さんが「パイロット」、こどもが「電車の運転手」とこちらも対照的な回答となっている。 現在のこどもは身近な電車を運転することに、お父さんはなかなか乗ることのできない飛行機を操縦することに憧れていたようだ。ちなみにパイロットは 30 代のお父さんで 1 位(105 名)と最も多いが、これは 1969 年にアポロ 11 号が月面着陸をした世相も影響していると思われる。

「大工さん」もお父さんの各年代に共通して人気があった。最近は危険だというので昔のようにこどもが建設現場に入ってみることも少なくなっているようだが、お父さん達は大工さんの技ひとつひとつに恰好よさを感じていたようだ。

★「お母さんがこどもの頃なりたかったもの」 「現在のこどもが将来なりたいもの」の比較結果

1	保母	23. 2%
2	看護婦	8.9%
3	先生	6.8%
4	スチュワーデス	6.3%
5	ケーキ屋	5.1%
6	花屋	5.0%
7	歌手	4. 4%
8	美容師	3.4%
9	ピアノの先生(ピアニスト)	3.3%
	お嫁さん	3.3%

※年齢表記のないものも含む

○現在のこどもが将来なりたいもの (823 人/1995 年 4 月調査)

	• • • •	
1	セーラームーン	12. 2%
2	花屋	10.1%
3	先生・保母	8.9%
4	看護婦	6.0%
5	ケーキ屋	5.3%
6	お父さんのお嫁さん	4.9%
7	お母さん	2.8%
8	お嫁さん	2. 7%
	パン屋	2. 7%
10	医者	2. 2%

「現在こどもがなりたいもの」の1位「セーラームーン」はお母さんがこどもの頃にはなかったが、その他の項目を比較してみると、「看護婦」、「先生」、「ケーキ屋」、「花屋」、「お嫁さん」への憧れは世代を超えて共通しているもののようである。

特徴的なのがお父さんの「パイロット」(2位) とペアになる「スチュワーデス」。特に30代のお母さんで人気が高いが、現在のこどもの回答ではあまり数は多くなかった。お父さんの「パイロット」同様、普段あまり接することのなかった世界、綺麗で恰好いい女の人への憧れがあったのではないだろうか。

また、お父さんで5位の「大工さん」同様、その技への憧れからか「美容師」が8位に入っている。 考えてみれば女の子は今でも自分の髪をいじったり、人形の髪を切ったり結んだりすることが好きなの で、自然に出てくる回答といっていいのだが、現在のこどもの回答にはほとんど見ることができないの はなぜだろうか。

「看護婦さん」はかつても今もランクインしているが、現在慢性的な人数不足が言われており、実際 に就業するひとは少ないということか。

<「お父さんがこどもの頃なりたかったもの」年代別結果>

	20 代のお父さん	(295 人)
1	プロ野球選手	17. 6%
2	パイロット	11.1%
3	先生	5.8%
	トラックの運転手	5.8%
5	電車の運転手	5.1%
6	大工さん	4.1%
7	カーレーサー	3. 7%
8	バスの運転手	3.4%
9	ウルトラマン	3.1%
	サッカー選手	3. 1%

	30 代のお父さん	(709 人)
1	パイロット	14. 8%
2	プロ野球選手	14. 4%
3	先生	7.1%
4	電車の運転手	6. 2%
5	大工さん	4. 1%
6	バスの運転手	3.5%
7	警察官	3.1%
	医者	3.1%
9	カーレーサー	2.6%
10	ウルトラマン	2.5%

40 代のお父さん	(124 人)
-----------	---------

1	先生	8.9%
	プロ野球選手	8.9%
3	パイロット	8.1%
4	大工さん	6.5%
5	バスの運転手/コック	4.8%
	警察官/船長	4.8%

- ★30 代では「ウルトラマン」が10位。現在のこどもでは総合3位と人気の長さを証明している。
- ☆少数意見だが発明家、科学者という意見がどの世代にも見られた。高度成長期という時代背景と、当時の学校教育の影響だろうか?
- ★「プロボウラー」という意見はやはりそのお父さんの育った時代性を感じさせる。
- ☆20 代、30 代の 10 位に入っている「カーレーサー」は今ならばさしずめ、「F1 ドライバー」だろうか。 「カーレーサー」という表記にも時代を感じる。その頃は遊園地で"ゴーカート"に乗るのが楽しまれていた。

<「お母さんがこどもの頃なりたかったもの」年代別結果>

	20 代のお母さん (612 人)
1	保母	25. 5%
2	看護婦	9.3%
3	先生	5.5%
4	ケーキ屋	5.4%
	花屋	5.4%
6	歌手	3.8%
7	お嫁さん	3.6%
	スチュワーデス	3.6%
9	ピアノの先生(ピアニス	F) 3.4%
10	美容師	2.9%

	30 代のお母さん	(701 人)
1	保母	21.5%
2	スチュワーデス	9.0%
3	看護婦	8.3%
4	先生	6. 7%
5	ケーキ屋	5.1%
6	歌手	4. 7%
	花屋	4. 7%
8	ピアノの先生	3.4%
9	美容師	3.0%
10	お嫁さん	2.9%

	40 代のお母さん	(36 人)
1	先生	19.4%
2	看護婦	13.9%
3	保母	11.1%
4	お嫁さん	8.3%
	ピアニスト	8.1%

- ●各年代で10位以内に入っている「お嫁さん」のほか、「お姫さま」、「バレリーナ」などきれいな衣裳を着るものへの憧れも多かった。
- ○東京オリンピック (1964 年)、TV アニメ『アタック No. 1』(1969 年~) の影響か、20 代・30 代のお母さんに「バレーボール選手」をあげるの声も多かった。
- ●お父さんが「ウルトラマン」に憧れる一方、お母さんたちには「芸能人のお嫁さん(加藤茶のお嫁さんなど)」や「TV ヒーローのお嫁さん(忍者赤影の奥さんなど)」という回答も見られた。
- 〇リカちゃん人形やフランス人になりたかったというお母さん。今はどんなお母さんになっているのだろうか。

※ このレポートでは「子ども調査研究所」からコメントをいただいております。

お子さんの「将来なりたいもの」

子ども調査研究所 渡部 尚美さん

こども達は「大きくなったら何になる?」と問われることはあっても「大人になりたい?」と 尋ねられることはありません。実は最近の子どもたちは、あまり大人になりたがっていないので す。大人になることは、遊び時間が少なくなったり、人間関係が大変になったり、あまり魅力的 に思えないと、小学生でも感じています。つまり、「大人は遊べなくて大変なことがいろいろある こどもである」と理解しているのでしょう。かつては、大人とこどもの境界線がはっきりしてい たので、子どもは大人固有の自由さに憧れ、大人もこども固有の自由さをうらやましく思ってい たのです。しかし、大人とこどもの境界線がはっきりしなくなった現在「大きくなったら何にな る?」という問いは、「どんな人がカッコいい?」という質問以上の意味をなさなくなっているの です。そして、それは既に今の若い親たちがこどもであった頃からはじまっていることを、この データは示しています。